

令和4年度 コミュニティ・スクール大野城市立平野中学校 学校運営協議会だより

平野の杜

学校の教育目標
志をもって学び、郷土を愛し、共に高め合い
未来を切り拓いていく生徒の育成

令和5年2月27日 文責 副校長 藤田 天平

◆第4回学校運営協議会を開催しました！

2月21日(火) 15:30から本年度の第4回学校運営協議会を開催しました。今回は「令和5年度教育計画の方向性」「学校評価まとめ」「地域連携活動まとめ」について報告し、協議をおこなっていただきました。

◆令和5年度教育計画の方向性

会の始めに令和5年度教育計画の方向性について、日下部校長からグランドデザイン(概要版)の説明がありました。子どもたち一人ひとりの「自己実現」を目指し、HBC共育の目標である「地域と共に伸びる児童生徒の育成」のもと、家庭・地域・学校が協働すること、平野中ブロック小中学校が連携して9カ年で教育を行うこと等を確認しました。地域や保護者の皆様には令和5年度も引き続き、子どもたちを「ほめて 叱って 励ます(認めて、支えて、自律へ)」を合い言葉に、子どもたちの自尊感情や規範意識の醸成にご協力くださいますようお願いいたします。

◆学校評価について

毎年、生徒、保護者、地域、教職員を対象にアンケートを実施し、学校評価としてまとめています。今回は後期報告を行いました。前期の学校評価を踏まえた後期の重点取組は以下の通りでした。

- 学力向上に向けて授業改善を各教科で組織的・計画的に実践
- 入試や学力テスト等の総合的な問題に対応できるように学んだ知識を「活用」する力を高める取組を実践
- サイクル学習の充実を図りながら、より効果的な取組を実践
- 開発的・予防的な生徒指導への転換を組織的に推進し、体験活動や生徒会活動の自主活動を実践
- 保護者や地域との連携・協働の活動や取組を模索するとともに、地域の学校支援の在り方を組織化



イクル学習の取組を続け、次年度につなげていきたいと考えています。また、「地域との連携」は確実に進んでいると思われます。地域でたくさん鍛えられ、褒められた結果、生徒たちの自尊感情は確実についてきています。しかし、まだまだ不十分な点も多く、今年度の結果を踏まえ、次年度の重点として以下の点に取り組んでいきます。

- 学力向上に向けた授業改善について、育成すべき三つの資質・能力を明確にしなが各教科で組織的・計画的に進めます。
- サイクル学習の充実を図りながら、より効果的な取組を実践します。
- 生徒指導を組織的に行い、自主活動を取り入れた体験活動や生徒会活動を推進します。
- 不登校生徒への対応を柔軟に行うため、関係機関との連携を密にしなが、生徒にとって適応可能な場所を模索していきます。
- コミュニティスクールの意義や目的を再確認し、情報発信や地域の人・ものによる学校支援の在り方を協働で組織化していきます。

◆地域連携活動・意見交流について

今年度はコロナ禍の中ではありましたが、地域での行事も再開し、多くの子どもたちがボランティア活動に参加することができました。今年度は「自分の地区行事に参加する生徒ボランティア100%」を目標に様々なボランティアに参加させていただきました。今年度のボランティア総数は1544人と令和元年度のコロナ前の参加数1429人を上回る数となりました。



意見交流の中でも区長様、副区長様から「地域行事が活気づいた」「たくさん子どもがボランティアに参加してくれて嬉しかった」「来年度も地域の子供たちに参加してほしい。子どもたちの顔を覚えられ」「子どもたちの頑張りを公民館だよりでたくさん紹介したい」とお褒めや励ましのお言葉をたくさんいただきました。また、活動の課題についてもお話いただき、次年度につながる交流の場となりました。

◆学識経験者 伊藤教授よりご指導をいただきました

会の最後に福岡教育大学教授の伊藤 克治先生から大きく3点の指導・助言をいただきました。(一部要約)

- ①「評価」について 評価とは「学校の健康診断」
○次年度に向けた良さや課題を把握して生かしていくことが必要で、そのためにも様々な立場の人がそれぞれの目で見て感じたことを評価してもらいたい。
○「評価」とはできたことを互いに喜び合うものである。
- ②次年度の教育計画について
○子どもたちの「学びに向かう力」は地域での関わり、小中の関わり、大人との関わり、つまり自分以外の他者との関わりをとおして、様々なことを調整しながら培われるものである。
○平野中学校は学校が目指す目標の「知徳体」のうち「徳」に重きを置いて教育を進めていることが分かる。
- ③地域貢献について
○地域で育てる子は、地域で面倒をみるのが一番で、そのためには地域コーディネーターの果たす役割は非常に大きい。また、子どもたちのボランティアを支える保護者ボランティアも必要である。



今回ご指導いただいた内容、意見交流の中で出された課題を、次年度の学校教育に生かしていきたいと考えています。学校運営協議会の会員の皆様、1年間の活動ありがとうございました。
※次年度の第1回学校運営協議会は、令和5年5月11日(木)を予定しております。

学校評価大項目				
A 学ぶ意欲の向上(①②③)				
後期総合評価				102.3
評価項目	基本的授業技術の確立	学ぶ意欲の向上	テスト結果の向上1	テスト結果の向上2
前期	107.0	108.3	97.5	97.1
後期	106.5	107.2	97.8	97.5

学校評価大項目				
B 規範意識の向上				
後期総合評価				107.6
評価項目	基本的生活習慣の定着	規範意識の向上	生活習慣の向上	不登校生徒の減少
前期	104.0	114.5	99.9	109.8
後期	106.3	114.2	99.9	109.8

学校評価大項目				
C 自尊感情の醸成				
後期総合評価				82.0
評価項目	地域との連携	地域への参加	自尊感情の醸成1	自尊感情の醸成2
前期	72.5	100.0	65.0	112.0
後期	74.9	100.0	71.2	111.5

図は後期の総合評価ならびに前後期の評価を比較したものです。前期と比較して若干下がった項目はありますが、概ね良好な結果と分析できます。後期は「学力向上」の取組として、新しいサイクル学習を行いました。テスト結果の向上を見ると前期よりも上向いていることがわかります。今後モサ